



干支人形づくり



ガラス玉づくり



勾玉づくり



遺 跡のそばにある「原の辻ガイダンス」では、原の辻遺跡の調査の歴史や整備のポイントが紹介されているほか、様々な体験を楽しむことができる。しかもその体験メニューが勾玉づくりや火おこし体験、土器づくりやガラス玉づくりなど、古代技術に特化しているのがなんともユニーク。

今回は勾玉づくりにチャレンジした。工程はいたってシンプルで、勾玉の形をしたロウ石を粗さの異なる二本のやすりを使ってきれいな形に整えた後、紙やすりで磨き上げていくというもの。ただ、言うは易し行うは難し。スタートの丁寧な指導にもかかわらず、初めは恐る恐るしか石を削ることができずに悪戦苦闘。しかしだんだんコツをつかむと、思い切り削れるようになり、いつしか無心になって手が動いてゆく。所要時間は約四十分。初心者ゆえに出来上がりは少々いびつなもの、心を込めて作ったという充実感と世界に一つだけの勾玉ができたという嬉しさがこみ上げる。好きな色の紐できれいに結わえてもらった勾玉は持ち帰ることができる。あつて、子どもから大人まで人気が高いという。

弥生時代の遺跡のそばで勾玉を作り、火をおこす。これぞ壱岐ならではの楽しみ方だ。

原 の辻遺跡をはじめとする壱岐の歴史はもちろん、東アジアとの交流の歴史を体感できるのが「一支国博物館」だ。館内は時代をさかのぼる形で壱岐の歴史が紹介されている。特に海の王都を象徴する古代船の実物大模型や一支国の様々な暮らしのシーンを再現したジオラマミニチュア模型などは、歴史を楽しくリアルに想像させてくれる。

この博物館の大きな魅力は、徹底して「分かりやすさ」を追求していること。館内では原の辻遺跡の出土品も展示されているが、一見すると何に使われたのか分からないようなものも、子どもが見ても理解できるような形で展示されている。その上、展示されている出土品は本物であるばかりか、触ったり、持ち上げたりすることもできる。土器の感触や重さを実際に感じることで貴重な歴史体験だ。

この他、館内には原の辻遺跡を見渡せる展望室や、弥生の世界を映像で楽しめるビューシアターなどもあり、最先端のモノが集まり、人と文化が交わった一支国の歴史をまるごと体感することができる。

一支国の魅力が まるごと詰まった博物館

ユニークな体験で 弥生人になりきる!

Iki City Ikikoku Museum

一支国博物館

壱岐市芦辺町深江鶴亀触515-1
TEL.0920-45-2731
開館時間 / 8:45~17:30
休館日 / 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日休館)、
12月29日~31日 ※GWおよび夏休み期間中は無休
入館料 / 一般400円、高校生300円、小中学生200円



故黒川紀章氏がデザインした建物の外観は、周辺の丘陵に溶け込んでいる。

Harunotsuji Guidance

原の辻ガイダンス (原の辻一支国王都復元公園)

壱岐市芦辺町深江鶴亀触1092-5
TEL.0920-45-2065
開館時間 / 8:45~17:30
休館日 / 12月29日~31日
入館料 / 無料(各種体験は有料にて実施)

